

# 農林水産大臣賞（捕獲鳥獣利活用部門（団体））

捕獲した野生鳥獣を地域資源として活用し、地域の課題解決につながるため、ジビエ処理施設「京丹波自然工房」を平成25年に整備。徹底した品質・衛生管理により、平成30年に第1号の国産ジビエ認証を取得し、全国の先駆的な存在として、各地で講演活動を行うなど、ジビエに関する知識や技術の普及に貢献。

アートキューブ

## 株式会社ART CUBE

（代表取締役社長：垣内 かきうち 規誠 ただまさ）

### 主な取組

京都府船井郡京丹波町 ふない きょうたんばちょう

- 全ての工程の作業記録を作成、捕獲時の体温や内臓の状態等もチェック、個体毎に識別番号を付与、工程ごとに処理する部屋を分けるなど、国の指針を上回る厳格な独自ルールを定めるほか、捕獲作業は社員又は契約ジビエハンター（※）のみが行うなど新鮮な肉の確保・処理・加工を徹底。（※ジビエに必要な衛生管理の知識を持つ捕獲者）
- 京丹波町に限らず、周辺の地域からシカやイノシシの捕獲情報が寄せられると、社員等が直ちに現地に向かう体制を構築している。また、地域で捕獲されたシカ等を処理できる残渣減容化施設を運営しており、捕獲者の負担軽減に貢献。
- 捕獲個体のうち、食肉に向かない部位を高い衛生管理基準によりペットフードとして処理加工し、廃棄物の削減につながるほか、地域資源としての利用拡大を図っている。
- 捕獲から加工・販売に至るまでの高い知識と技術を持つ人材育成のため、全国各地での講習会開催や視察の受入れに加え、独自に作成したジビエハンターガイドブックの普及により狩猟者の育成にも貢献。

#### 【シカの利活用頭数の推移】

162頭（活動開始時：平成25年度） → 1,108頭（令和5年度）